

第1回「草津川跡地(区間6)活用検討懇話会」 ニュースレター

平成 27 年 12 月 25 日 発行：草津市、栗東市

草津市と栗東市が協働して、草津川跡地（区間6）のうち、両市の市域界が位置している部分の整備に向けた土地の利活用方法について話し合うことを目的に懇話会を開催しました。懇話会は、全3回の実施を予定しており、第1回懇話会を平成 27 年 11 月 25 日（水）に開催しましたので、開催内容等についてご紹介致します。

★懇話会の開催日程

	テーマ	内容
第1回 H27.11.25 14:00～	懇話会の目的と基本計画の確認、および広場の活用について	懇話会の進め方やこれまでの跡地整備に関する取り組み、対象区間の概要や周辺状況について説明し、検討条件の共有を図った上で意見交換を行う。 ・対象区間における広場の活用について ・防災道路について
第2回 H28.1.25 (予定)	道路計画と広場空間の利活用方法について	・前回の意見交換の内容をもとにした道路計画や広場の状況について説明し、意見交換を行う。
第3回 H28.3.2 (予定)	区間6の跡地利用について (総括)	・道路計画についての説明、総括 ・広場利用についての説明、総括 ・今後の事業の進め方について説明

※今回部分を太枠で囲っています

★第1回懇話会の内容紹介

第1回懇話会では、懇話会の目的およびこれまでの草津川跡地整備の取り組みについて説明し、本区間における広場の活用について、委員の方々に意見交換を行っていただきました。

～第1回懇話会プログラム～

*開会

*委員の紹介

*懇話会の概要説明

*会長・副会長の選出

*意見交換

*閉会



▲ 模型を用いた説明



▲ 意見交換の様子

★主な意見の整理

■防災道路（草津市道 草津川線）に関する意見

- ・道路が家屋に近接するとプライバシーや騒音等の問題が生じるため、道路を家屋から極力離すべきである。

〔 栗東市委員：現況と同様に草津市側に道路を通してほしい。 〕
〔 草津市委員：沿線住民への確認を行う。 〕

- ・JR東海道新幹線の高架下を防災道路が通過する箇所については、平常時は車を高架下空間の低い草津市側を通し、緊急時のみ緊急車両を高架下空間の高い栗東市側に通すことなど、緊急車両が通行できるような通行空間を確保してほしい。
- ・市道を利用した祭りを行っているため、新たに計画する道路に関しても、祭りを実施するために必要な機能（宅地へのアクセス道路等）を復旧してほしい。

■堤体のあり方に関する意見

- ・今後さらなる高齢化が進んでいくことを考えると、極力堤体を切り下げて草津川跡地内の広場へアクセスが容易にできるよう、平地化することが望ましいと思う。
- ・堤体を切り下げすぎると、堤体に近接する家屋のプライバシーの問題があるため、プライバシーが確保できるよう、適度な高さを残すことや、植栽などで目隠しができないか等の検討をしてほしい。

■広場の活用に関する意見

- ・広場は、草津市・栗東市のどちらかに集約した方が、広場が道路で分断されることなく、広いスペースが確保でき、将来的にも使い方の幅が広がると思う。
- ・広場の活用としては、家庭菜園等としての貸し出しも1つの方策であると思う。

★第2回懇話会開催について

テーマ：「道路計画と広場空間の利活用方法について」

内容：第1回懇話会の意見交換の内容や現地状況から検討した道路計画や広場の空間について説明し、意見交換を行います。

日時：平成28年1月25日（月） 14:00～（13:30 受付）

場所：草津市役所 8階大会議室